

## 計画策定に向けた今後の進め方

---

# 1 . 令和3年度の進め方

---

# (1) 調査・検討内容

令和3年度においては、計画策定に向けて、次の調査等を実施し、検討作業を進めていく予定です。

民生委員や公共交通利用者へのアンケート調査の実施

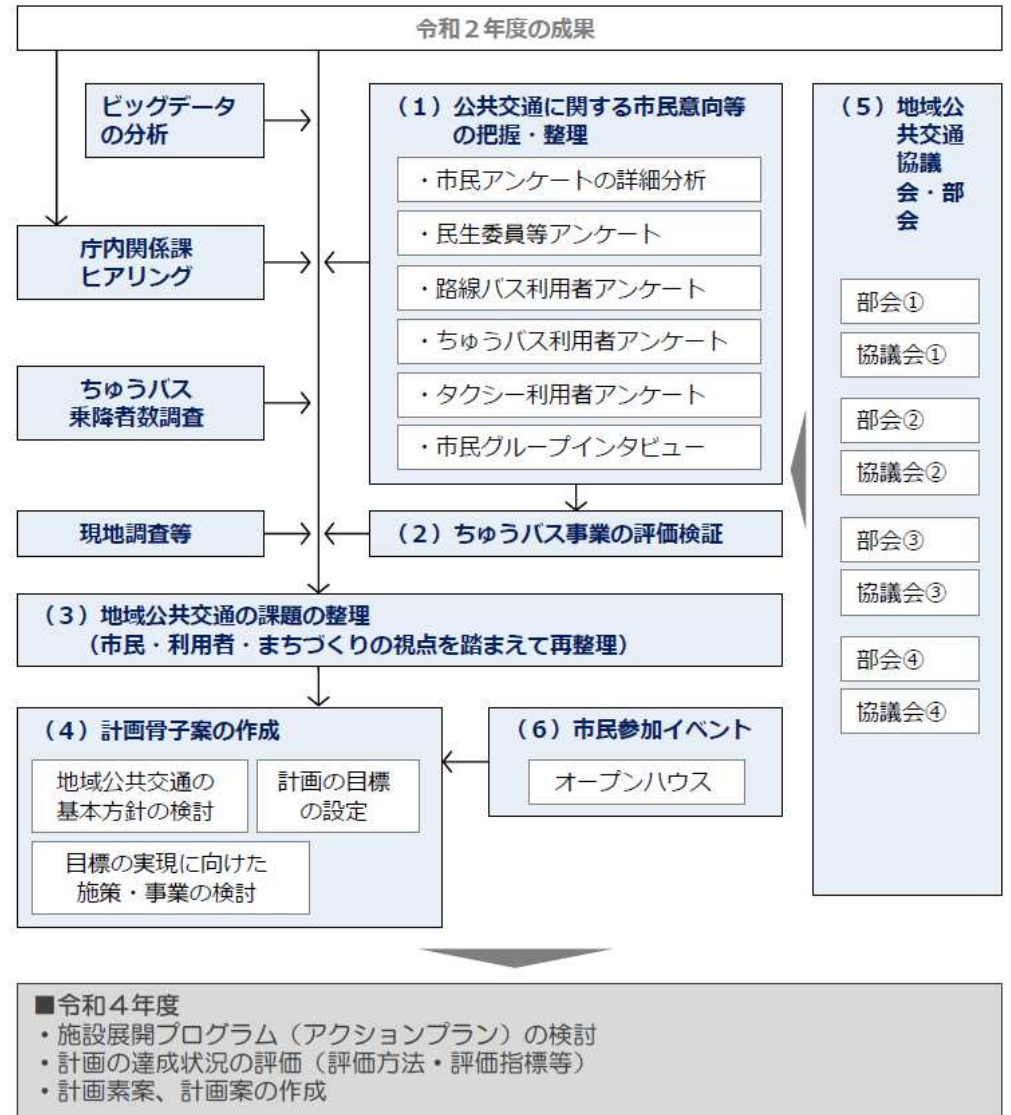
ちゅうバス乗降者数調査の実施

ちゅうバス事業の再検証

ビッグデータ（ICカードデータなど）の分析  
調査結果を踏まえた課題・ニーズの深掘り

計画骨子案の作成（基本的な方針・目標や目標達成のための施策・事業など）

骨子案に関する市民参加イベントの実施



## (2) 必要となる調査

### 把握すべき項目・概要

地域の  
実態  
(需要等)

市民全体の実態	地域別・目的別の移動実態（場所・時間・手段等）
高齢者等の移動に困っている実態	利用する生活サービスの実態・日常的な移動実態
多様な世代の移動ニーズ	地区ごとの高齢者ニーズ、子育て世帯の移動ニーズ等
広域の移動実態（市民以外含む）	府中市 周辺市の移動実態（場所・時間等）
ちゅうバスの評価・検証	利用者の評価、ちゅうバスがない場合の外出の変化
公共交通に対する関連分野の考え・意向	まちづくりや他分野（都市・施設・福祉・観光等）の考え 今後のまちづくりや関連事業の動向

手段の  
実態  
(供給等)

公共交通の提供状況	公共交通の運行状況・経費、不便地域、経営状況
他の交通・移動サービスの提供状況	タクシーやシェアサイクル等の実態 行政主体サービス（福祉輸送等）の実態 民間・地域主体サービス（各種送迎バス等）の実態
公共交通の利用実態（広域・市内）	鉄道・路線バス・ちゅうバスの利用実態（便別、停留所別、区間別等）、サービスの過剰・不足状況
交通拠点の実態	公共交通の乗り継ぎ実態・待合環境等の実態

### 必要となる調査・整理

市民アンケートの詳細分析	アンケート
民生委員等アンケートの実施	
公共交通利用者アンケート（路線バス・ちゅうバス・タクシー）の実施	
市民グループインタビューの実施	
庁内関係課ヒアリング	ヒアリング
交通事業者ヒアリング（鉄道・タクシー・シェアサイクル）（バスはR2実施）	
ちゅうバス乗降者数（車内カメラ）	実態調査
現地踏査（適宜）	
ビッグデータの分析	
地域特性の整理（R2）	
公共交通等の現状整理（R2）	

## (参考) 地域公共交通計画の構成案

大項目	中項目
1 . 計画の概要	計画の目的、計画の位置付け、計画の区域・期間
2 . まちづくりの方向性	市が目指す将来像、まちづくり・都市整備の方向性
3 . 地域公共交通の現状・課題	3 - 1 地域の現状 3 - 2 公共交通の現状・問題点 3 - 3 地域公共交通を取り巻く課題
4 . 基本的な方針と目標	4 - 1 基本理念と基本方針 4 - 2 計画の目標 4 - 3 地域公共交通の将来像
5 . 目標達成のための施策・事業	5 - 1 施策体系 5 - 2 各事業の内容 5 - 3 事業の実施スケジュール
6 . 計画の進行管理の方法・体制	6 - 1 計画の推進体制 6 - 2 評価・検証方法 6 - 3 評価指標・数値目標

計画骨子案

## 2 . 令和3年度に実施する調査等

---

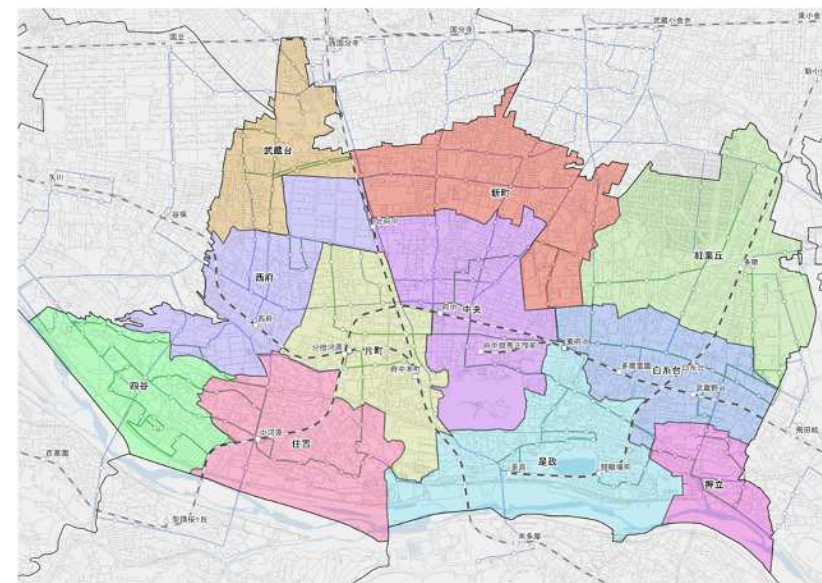
# (1) 市民アンケートの詳細分析

- 令和2年度業務で実施した市民アンケートについて、**詳細分析（クロス集計等）**を行います。
- コロナ禍により行動変容が発生している可能性が高く、移動実態を適切に把握するため、コロナ発生前・発生後の状況を把握するほか、生活を送る上で最低限必要な移動機会について把握します。

## 【分析項目（案）】

項目	把握内容（概要）
年齢別クロス集計	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年代別の移動ニーズや利用意向等を整理する。</li> <li>● 特に、公共交通の必要性が高い高齢者の移動ニーズ等を把握することで、より効果的な公共交通サービスの検討を行う。</li> </ul>
地区別クロス集計	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内をいくつかの地区に分け、地区ごとの移動特性や公共交通に対する不満等を整理し、各地区が抱えている問題点等を把握する。 地区分けは、<b>日常生活圏域（市内文化センター管轄エリア / 11地区）</b>等を想定</li> </ul>
外出目的別のOD分析 （居住地×目的地のクロス集計）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常的な買い物、その他の買い物、通勤、通学、通院における移動状況を整理する。</li> </ul>
公共交通利用の有無別の満足度や不満点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非利用者が感じている不満点等を整理することで、運行サービスの改善点等の検討材料とする。</li> </ul>

日常生活圏域（11地区）



## (2) 民生委員等アンケートの実施

- 各地区の高齢者等をはじめとした生活の実態（困りごとなど）や外出について「生の声」を把握している可能性が高い民生委員等を対象としたアンケート調査を実施します。

### 【実施概要】

#### 調査対象

府中市内の民生委員・児童委員  
(172名)

#### 実施方法

郵送配布・郵送回収

#### 実施時期

5/20～6/9

民生委員の役員会において、趣旨説明・配布を実施

### 【調査項目】

項目	把握内容（概要）
担当地区の現状	<ul style="list-style-type: none"><li>• 担当区域における公共交通の利用状況・利便性</li><li>• 交通弱者の移動手段</li><li>• 高齢者や子育て世代の買い物、通院などの移動実態</li><li>• 高齢者や子育て世代の外出時にあたっての困りごと</li></ul>
基本属性	<ul style="list-style-type: none"><li>• 担当区域</li></ul>



## (3) 公共交通利用者アンケートの実施

### 路線バス利用者アンケートの実施

- 平日の昼間時間帯における路線バスの利用実態を把握します。
- 特に、府中駅から近距離区間での市内の利用（ちゅうバスとの役割分担）や、隣接自治体面への利用、市外からの利用などを把握します。
- また、バス利用者の自転車利用の有無や利用シーンを把握し、連携施策の検討に活用します。

#### 【実施概要】

##### 実施方法

市内の主要バス乗場（府中駅等）で、バスを待っている方に対して調査員が調査票（はがきタイプ）を配布し、郵送にて回収を行う。

##### 調査日時

平日 1 日間の10時～16時頃

#### 【調査項目】

項目	把握内容（概要）
利用実態	<ul style="list-style-type: none"><li>● 利用路線、利用時間、乗降バス停</li><li>● 往復・片道利用、利用目的、利用頻度、支払方法など</li></ul>
利用者の評価	<ul style="list-style-type: none"><li>● 運行方法に対する評価・改善意見</li></ul>
回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"><li>● 性別、年齢、職業、居住地（市内・市外）</li><li>● 運転免許の有無、自家用車の利用状況</li></ul>

## (3) 公共交通利用者アンケートの実施

### ちゅうバス利用者アンケートの実施

- 乗降調査で把握する利用実態を補足するとともに、「ちゅうバス」の導入目的・コンセプトを踏まえ、利用者にとって「何の重要度が高い(低い)」のか、「何の満足度が高い(低い)」のか評価します。
- 他の交通モード(路線バス・自転車等)の選択肢の有無や転換可能性を確認し、「ちゅうバス」施策の他分野への効果把握、「ちゅうバス」見直しによる影響把握を行います。

#### 【実施概要】

##### 実施方法

調査員が「ちゅうバス」の全便の車内に乗り込み、調査票を配布し、郵送にて回収を行う。

##### 調査日時

平日1日間

#### 【調査項目】

項目	把握内容(概要)
利用実態	・乗降バス停、往復・片道利用、利用目的、利用頻度など
利用者の評価	・各コンセプトの項目に対する重要度と満足度 ・運行内容に対する改善意見
効果把握	・「ちゅうバス」を利用する理由
交通手段	・天気による交通手段の変化 ・「ちゅうバス」を利用しない場合の移動手段、利用頻度の変化など
回答者の属性	・性別、年齢、職業、居住地 ・運転免許の有無、自家用車の利用状況

## ( 3 ) 公共交通利用者アンケートの実施

### タクシー利用者アンケートの実施

- 市内におけるタクシーの利用実態や改善要望などを把握します。
- タクシーの日常利用のしづらさ（乗場位置や呼び出し方法など）の有無を把握し、改善施策の検討に活用します。

#### 【実施概要】

##### 調査対象

市内におけるタクシー利用者

##### 実施方法

府中駅等のタクシー乗場において、調査員がタクシー利用者へアンケート調査票を配布し、郵送回収する。

タクシー事業者の協力を得て、タクシー車内において、ドライバーから利用者にアンケート調査票を配布してもらい、郵送回収する。

#### 【調査項目】

項目	把握内容（概要）
利用実態	<ul style="list-style-type: none"><li>● 利用区間（運賃）、利用時間、乗降場所</li><li>● 往復・片道利用、利用目的、利用頻度、支払方法など</li></ul>
利用者の評価	<ul style="list-style-type: none"><li>● タクシーの利用にあたっての問題点・改善意見（乗場、電話予約、運賃・迎車料金、支払方法、ドライバーなど）</li></ul>
回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"><li>● 性別、年齢、職業、居住地（市内・市外）</li><li>● 運転免許の有無、自家用車の利用状況</li></ul>

## (4) 市民グループインタビューの実施

- 交通課題や施策の方向性を踏まえて、課題地域における課題の深堀りや今後の新たな施策・サービスの検討のため、ターゲット（高齢者や子育て世帯など）を絞ってグループインタビューを実施します。
- 具体的な調査対象・調査実施方法は、各種調査結果を踏まえて課題地域の想定やターゲットを設定した上で定めます。

### 【実施概要】

#### 調査対象

課題地域の交通弱者の方（マイカーを持たない高齢者、子育て世帯など）

対象地域・対象者の選定は、アンケート結果や課題抽出、施策方向性の検討を踏まえて設定

#### 実施方法

市役所又は地区の集会所等において、インタビュアーが聞き取る。

### 【調査項目】

項目	把握内容（概要）
日常の外出行動と移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 免許の有無、車・バイク、自転車の保有状況と利用状況</li> </ul>
外出時の障壁と気軽に行きたい所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常の買物、通院、用事などでの外出先と外出回数</li> <li>● 各地区からアクセスが悪い施設</li> <li>● 公共交通利用時の困りごと（バス待ち環境や車内環境など）</li> </ul>
改善の具体的な意見・提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段と所要時間（徒歩、自転車、車、送迎、バイク、ちゅうバス、路線バス、タクシー、鉄道等）</li> </ul>
参加者のプロフィール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住所、年齢、同居家族、居住年数</li> </ul>

### 実施イメージ



## ( 5 ) ちゅうバス乗降者数調査の実施

- ちゅうバスの詳細な利用実態を把握するため、カメラシステムにより各停留所における乗降者数を自動で集計するシステムを導入します。

### 【実施概要】

#### 実施方法

前後ドア上部に設置したカメラにより乗降の回数を自動で集計するシステムをちゅうバス車両全20台（予備車両2台を含む）のうち10台に導入し、全ルート・全停留所における乗降者数を実施期間中でカウントする。

#### 実施時期

6月1日～計6月分のデータ収集

#### データ

収集するデータは、停留所ごとの乗降の回数で、性別・年代のほか個人の特定につながる情報は含まない。

## ( 6 ) 現地踏査等 ( 交通結節点や主要バス乗場等 )

- 交通結節点や主要バス乗場における乗り継ぎ利便性や待合環境、乗場案内、情報提供などの実態・課題を把握するため、現地踏査等を実施します。

### 【実施概要】

#### 調査対象

複数の交通モードが乗り入れている鉄道駅やバス停を対象とする。また、今後交通結節点となりうる駅やバス停においても実施を検討する。

府中駅、分倍河原駅、多摩総合医療センター等を想定

#### 実施方法

調査員が現地を確認し、調査項目について、現状を撮影し、対象地ごとに整理する。

### 【調査項目】

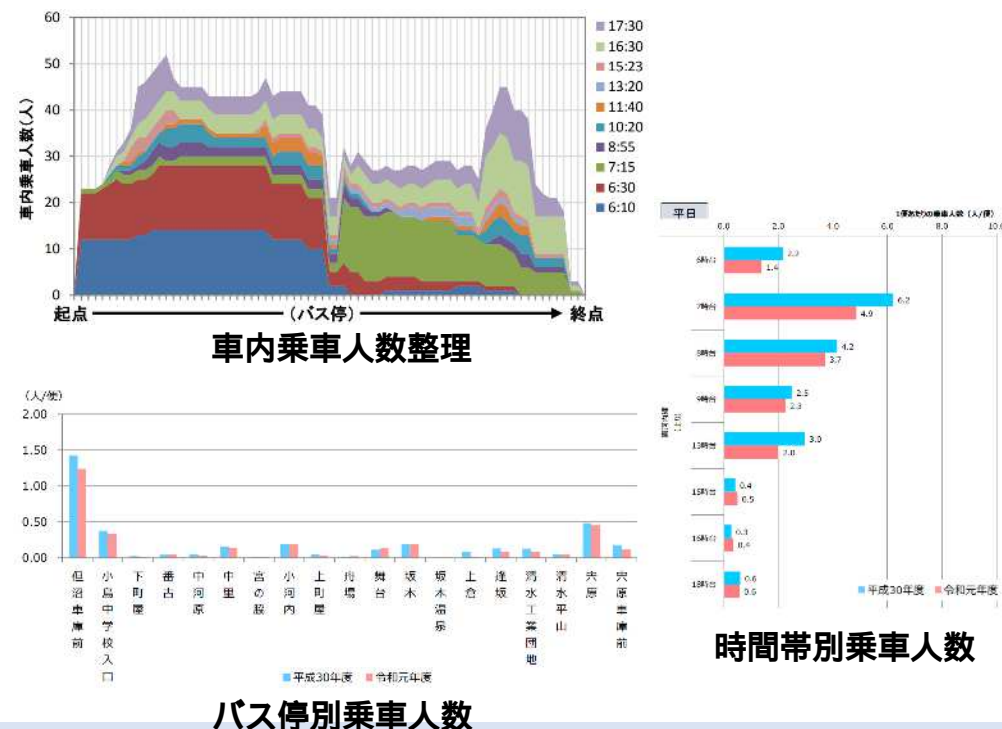
項目	把握内容 ( 概要 )
乗り継ぎ利便性	<ul style="list-style-type: none"><li>• 乗場同士の距離 ( 駅改札 バス停間など )</li><li>• バリアフリー対応状況</li><li>• ダイアの接続性 など</li></ul>
待合環境	<ul style="list-style-type: none"><li>• ベンチや屋根の有無、管理状況</li><li>• 周辺の施設立地 など</li></ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電光掲示板 ( バスロケ ) の有無</li><li>• 案内板の有無や連続性</li><li>• 案内板のわかりやすさ ( 掲示位置、ピクトグラムの見やすさなど ) など</li></ul>

## (7) ビッグデータ活用・分析

- ちゅうバスのバス停別乗降データ（車内カメラで観測）や、交通事業者から路線バス等のICカードデータ等を提供してもらい、その可視化・分析を行うことで、利用の多い・少ないバス停や利用区間（OD）を把握し、課題整理及び将来交通網のあり方検討に活用する。
- また、人流データ（東京都市圏パーソントリップ調査等）の集計・分析を行い、市内ゾーン間の移動実態を目的別・交通手段別に整理する。

### 【分析項目】

項目	把握内容（概要）
車内乗車人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 便別、バス停別の乗降客を集計することにより、利用者が多い区間や著しく少ない区間を把握し、運行区間や運行時間帯の効率化の検討材料とする。</li> </ul>
バス停別乗車人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バス停別の乗降客数を集計することにより、利用者の多いバス停を把握し、交通拠点設定の検討材料とする。</li> </ul>
時間帯別乗車人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 便別の利用者数を集計することにより、利用が多い時間帯や著しく少ない時間帯を把握し、運行時間帯の効率化の検討材料とする。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題および課題の深掘りに必要と考えられる項目について、適宜、集計を行う。</li> </ul>



### 3 . 策定スケジュール

---



